

科学技術交流ニュース

Aichi Science & Technology Foundation

News

Vol.27 No.2

2021.11 冬季号

02-03 発見!地域の小さな巨人企業 / エイベックス株式会社
多様性人材と変革時代を勝ち進む〜経営理念に基づくダイバーシティ経営〜

04-05 あいちシンクロトン光センター /
シンクロトン光で解くコンタクトレンズの不思議

06-07 共同研究 / セルロースナノファイバーを添加した機能性砥石の開発
マルチマテリアル化を実現する接合技術の開発

08-09 育成試験 / バインダー・ジェット3D積層造形体の脱脂・焼成プロセスの可視化
医療感染症対策用飛沫防止フードの試作

10-11 わかしゃち奨励賞 /
基礎研究部門: 生体に学び、生体を超越する自己修復性ラセン連結超分子の開発
応用研究部門: 水素による省エネルギー温室効果ガス回収技術の開発

12-15 RISING STAR / あいちシンクロトン光センター - 新星の出会い -

エイベックス株式会社

多様性人材と変革時代を勝ち進む ～経営理念に基づくダイバーシティ経営～

10月中旬に、名古屋市瑞穂区のエイベックス株式会社の本社を訪ね加藤社長をお伺いしました。同社は、自動車用の切削・研削加工部品を年間1億6,000万本、加工精度 $3\mu\text{m}$ の製品を全世界に提供しています。その数量の多さと精度に驚嘆しましたが、それに甘んじることなく $1\mu\text{m}$ の精度に高め、更には今後の自動車の電動化部品に必須となる難削材の加工技術を極めるとのこと。まさに日本の高度なものづくりを支える先進企業です。どこにも負けない「専門技術」や「商品」に特化し、従業員一人ひとりが、「エイベックスで働くこと」「創りあげる商品」「提供するサービス」に「誇り」と「こだわり」と「自信」を持っておられ、企業として確固とした経営理念を持ち、若い力に溢れ、働き甲斐があり、活力のある会社と推察されました。

【会社概要】

- | | | | |
|-------|--|--|---|
| ■社名 | エイベックス株式会社 | ■本社 | 〒467-0853 名古屋市瑞穂区内浜町26番3号 TEL (052)811-1171 |
| ■設立 | 1949年 | ■多度工場 | 〒511-0117 三重県桑名市多度町下野代字谷3503-30 |
| ■資本金 | 1,000万円 | | TEL (0594)-49-3025 |
| ■社長 | 加藤 丈典 | ■桑名先進工場 | 〒511-0118 三重県桑名市多度町御衣野3600-18 |
| ■従業員数 | 481名 | | TEL (0594)-49-2610 |
| ■事業内容 | 自動車関連部品(A/Tバルブ、ブレーキ、ミッション、エンジン部品)、建設機械部品(高精度小物 精密切削/研削加工部品)、マシン部品などの製造販売 | ■インドネシア工場/PT.AVEX SOMAGEDI MANUFACTURING | Jawa Barat, 41363, Indonesia. |

創業事始

当社は、1949年に加藤一明が現在の名古屋市瑞穂区で「加藤鉄工所」を創業し、小物精密部品の製造を開始しました。1959年中部地方に直撃した伊勢湾台風に甚大な被害を受けましたが、その危機の中を先輩達は苦しみながらも確実に乗り越え、変化を恐れず立て直してきました。1992年に企業ビジョンの明確化を図り、CIを導入し、第二創業期と位置づけ「エイベックス株式会社」に社名を変更しました。2004年に世界から受注できる体勢を整えるため多度工場を新設、2010年に私（加藤丈典）が新代表取締役社長に就任しました。さらに2020年は次世代製品とデジタル化のための桑名先進工場を竣工させました。

経営ビジョンとして「精度・コスト・リードタイム1/2」への挑戦とし、各チーム・一人ひとりの従業員が常に問題意識を持ち、知恵を出し合い、自主的に解決していくことで、高精度小物切削・研削を「極める」プロフェッショナル専門メーカーとなることを目指しています。更に桑名先進工場では、培ってきたアナログ技術をデジタル化し、それらを融合したスマート工場を立上げ、その技術と製品を進化させています。



加藤丈典
代表取締役社長



桑名先進工場全景

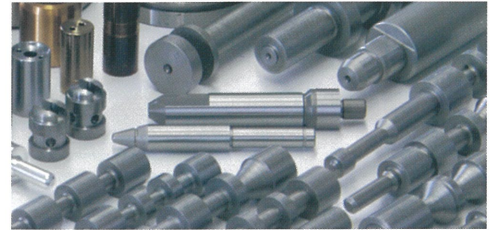
日本を動かす熱い夢、次代をゆさぶる技術…

そんなオンリーワン企業を「発見!地域の小さな巨人企業」と題してシリーズでご紹介します。

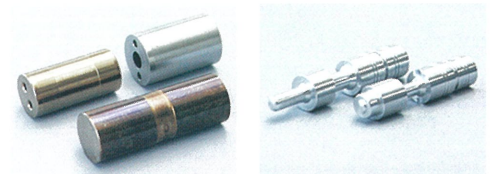
基幹となる技術・製品は…

当社は、創業から72年培った超精密切削・研削技術を有し、自動車関連部品、建設機械部品などを製品化しています。特に自動車の油圧バルブなどに用いられるリニアソレノイドと言われる圧縮機用の基幹部品であるプランジャーやオートマチックトランスミッションに搭載されるスプールバルブなど超精密な部品を核に、変速機(AT/CVT/HEV/DCT/MT/AMT)やブレーキ、ミッション、エンジン用部品に展開し、更には次世代型の省燃費に関わる駆動ユニットやEVやFCV用など電動車用の油圧制御・電磁制御を構成する部品や今後急速に需要拡大が見込まれる難削材の加工部品等に力を入れています。また基幹技術の強化のため設備の内製化に注力しており、自社で加工機や検査機等を製作しています。

主要設備としてCNC自動旋盤、センターレス研削盤などに加え、「自前化」により自社で開発してきた「自動化」した製品供給収納機や検査機などを有しています。



精密切削・研削加工部品群



プランジャー

スプールバルブ



CNC自動旋盤



自動化ロボット

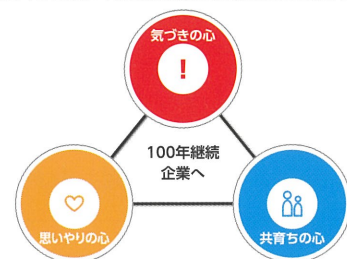


自前化作業の様子

100年企業に向けて…

創業者の話として「今ある仕事はいつか無くなる」という格言を肝に銘じて、自ら積極的に市場創造を実践しています。事業強化においては“自立型人材の育成戦略”を掲げ「なんでも自前でできる人材の育成」を合言葉に、他社との技術の差別化を図り、世界競争力を高めるための共育を行っています。「共育」とは単なる上からの教育・指導でなく共に育つことによる継続的な技能技術の向上を目指し、「人は資産」として従業員の可能性引き出す人材育成を行っています。そして「気づきのところ」「思いやりのところ」「共育ちのところ」の三つの心を持つことを「人を大切に経営」理念としています。このような取組により外部・内部の環境を見極めて経営資源である人材の価値を最大化する努力をすることと、高齢者が活躍できる職場、女性が活躍できる職場、障がい者が活躍できる職場作りを推進し、100年継続企業を目指しています。

「人を大切に経営」でプロを育成する!
従業員一人ひとりが「3つの心」と理念を共有し、全員が必要とされる企業を作り上げる



これからの発展のために…

当社は、企業表彰(アワード)受賞実績を多く積み、「元気なモノ作り中小企業300社」「愛知ブランド企業」「日本品質奨励賞」など経営的な受賞に加え、「みえの働き方改革推進企業」「愛知県あいち女性輝きカンパニー」「新ダイバーシティ経営企業」「くるみん 星ひとつ認定(子育てサポート企業)」など現在の社会的な課題である働き方改革に積極的に取り組んでおり、一生を通じて従業員が安心して夢を描けられるような企業を創造していきます。これらが今後の「多様性人材と変革時代を克ち進む」企業であると信じています。